

里庄町放課後等デイサービス事業所「ぽかぽか」

作成日：令和6年3月21日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1		宿題をする部屋を2つに分ける、運動を外で行うなどスペースにゆとりができるように配置している。
	②	職員の配置数は適切であるか	1	3	2	配置基準は満たしているが、病気などで職員に欠員が出たときに人数不足を感じているため人員を増やすことを検討している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切にされているか	6			玄関にスロープがあり、歩行の難しい利用者も歩きやすい。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	1	5		毎月職員全体でミーティングを行っている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	3		評価表を参考に、業務内容の見直しを行っている。次年度に向けてアンケート調査の保護者の意向を反映させて業務改善につなげていきたい。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		1	ホームページにて結果の公表を行っている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	4	現時点ではおこなっていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	4		虐待防止、障がい特性の理解について研修をおこなった。次年度に向けて研修を計画している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2		半年ごとのモニタリングをおこない、保護者のニーズを把握し、個々の発達に合わせた個別支援計画を、職員で共有しながら作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		6		作業療法士によるアセスメントツールを使って違う視点からのアセスメントをおこなえるよう工夫している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2		毎月の職員会議をおこないチーム全体で協力しておこなっている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2		季節の行事を感じられるよう工夫している。また、子どもの自主性が育つようなプログラムを取り入れている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2		平日、休日、長期休暇に応じた課題を決め支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	3		ニーズを把握し、計画を立てている。また、集団で活動できない子に対して個別で対応したり、声掛けをしている。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1		サービス提供時間前に職員間で支援の内容を打合せしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	4	1	基本的には振り返りをおこなっているが、業務形態が異なり振り返りのできなかった職員に対しては翌日におこなうなどの工夫をしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2	4		当日の支援に関する記録は当日中に終わらせるようにしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	3		半年ごとにモニタリングをおこない、家庭での様子、事業所での様子の共有をおこなっている。また、個人に合わせた内容で見直しをおこなっている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	4	2		ガイドラインをもとに複数の組み合わせで支援している。
関係機関や保護者との連携関係や保護者との連携	⑳	障害児相談事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	3		
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5		1	学校から下校時刻をいただき、子どもの下校時刻の確認をし送迎の調整をおこなっている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				現在、医療的ケアが必要な児童はいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	1	児童発達支援事業所、学校と情報共有をおこなっているが、保育所等とも情報共有を図っていきたい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	3	2	現在は対象児童はいないが、令和6年4月より対象児童がいるため支援提供を考えている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等との専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	4		今年度、開所前に研修をおこなった。また、必要に応じて連携している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	2		長期休暇を利用して、地域の放課後児童クラブと交流をおこなった。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	2		積極的に参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	2		連絡帳で日々の様子をお伝えし、お迎え時には、発達の状況や課題について共通理解するよう努めている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		3	3	現在おこなっていないが、今後検討していきたい。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			契約時に管理者兼児童発達支援管理責任者より説明している。質問等あれば応じている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1		お迎え時に相談があれば対応しているが、職員のスキルアップにより努めていきたい。また、電話でも相談を受けている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	4		茶話会や夏祭りで保護者同士の交流の場をもうけ支援している。保護者の居場所を作り、資源の情報を提供していきたい。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1		苦情があった場合は管理者が迅速に対応している。必要に応じて相談支援専門員と連携して対応している。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			季節ごとに行事の案内等も含め配付している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	5	1		契約時、誓約書を書いてもらい職員間でも取扱いに注意徹底するように共有している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			絵カードを活用して視覚支援等をおこなっている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6			もちつき会を開催し、地域住民の方を招待した。また、普段から地域の方に畑活動を手伝ってもらっている。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	2		マニュアルを策定し、職員に周知している。保護者に関しては簡易的な周知になっているため周知を徹底していきたい。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な対応を行っているか	5	1		年2回実施している。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			今年度は全員が参加したが、年2回の研修を確保できるようにしたい。
	④②	どのような場面にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			6	身体拘束が必要と思われるケースはないが、運営規程に加筆した段階のため、説明をおこなっていく。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2		現在では食物アレルギーのある子どもは利用者はいないが、契約時に確認してる。対象児には保護者から引継ぎをし医師の指示を仰ぎ対応したい。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	3		事例集作成までにはいたってないが、ヒヤリハットがおきた際には職員間で情報共有している。